

# 試験研究（事後）評価整理表

意見整理表3(事後評価)

試験研究機関名 衛生研究所

所管グループ 業務グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	外部評価アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期		
1	2-3- ライフステージや疾病に応じた保健予防対策の充実		PCR法による急性脳炎・髄膜炎例からのウイルス遺伝子検出法の確立と感染症発生动向調査体制構築に関する研究	重症化が予測される急性脳炎・髄膜炎症例をターゲットとし、遺伝子増幅法による病原体検出系を確立することにより、検査情報の早期還元を図る。	細胞を用いたウイルス検索は確実である反面、時間を要する。本研究は、臨床材料及び検体接種後の細胞培養液をサンプルとし、前処理の方法等を含めたPCR法によるウイルス遺伝子検索を検討する。	平成13	平成15	A	・ウイルス遺伝子検出法を確立したことは大きな意義がある。 ・県民の健康・予防医療のために、方法を確立されました。感染症は全国的視野に立ってみることも重要と思われます。他県、国レベルとの関わりはいかがでしょうか。
2	2-3- 生活衛生等の確保(食品等の安全性の確保)		食品、飲料水及び食器等から溶出する環境ホルモンの調査研究	当所に整備されているガスクロマトグラフ・質量分析計(GC・MS)等を用い、分析項目、分析感度、分析対象物等の検討を行い、分析法を確立するため。	ガスクロマトグラフ質量分析計等を用いて、分析項目・分析感度、分析対象物等の検討を行い分析法を確立する。併せてその方法により実態調査を実施し、環境ホルモン対策の検討を行う。	平成13	平成15	A	・ビスフェノールAの測定が可能になったことにより、依頼に対応できるようになった意義は大きい。 ・有用な成果がえられたようです。
3	2-5- 生活用水の確保と上水道の整備		簡易専用水道等貯水槽における維持管理と水質の関係調査	維持管理の中で最も重要な役割を果たす清掃と水質の関係を把握し、維持管理指導上の資料を得るため。	用途の異なる施設9箇所について、清掃前後の水質及び季節的な水質の変化等を調査した。	平成14	平成15	C	・十分なデータが取れなかったのは残念であった。 ・藻の発生や水系伝染病の心配もあります。適切なサンプリングができるよう努力してください。